

平成22年度 ニシン漁獲物調査速報(号外)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、適宜お知らせします。

2010年のニシン漁業は、1月の刺し網漁業の開始以降2月中旬まで石狩湾海域を中心に好調に推移しました。しかし、2月下旬以降は漁獲量の伸びが鈍くなり、4月上旬時点で1,871トン(北海道水産林務部水産振興課)と前年同期の1,968トンを下回っています。なお、3月下旬以降、各前浜の小定置網や底建網などでの漁獲が散見されており、今回その標本が石狩湾漁業協同組合石狩支所から提供されましたので、その測定結果について報告します。

【結果】

1. 尾又長のモードの位置は24cmと刺し網漁業の漁獲物(モードは26cm以上)より小さくなっていました。(図1)。
2. 年齢別には2008年生まれの2年魚が最も多く(63%)、次いで2006年生まれの4年魚(20%)、2007年生まれの3年魚(17%)の順でした。(図1)。
3. 昨年4月17日に同じく石狩の定置網で漁獲されたニシンが、ほとんどが尾又長25cmモードの3年魚(2006年生まれ)であったことに比べると、本年は1歳若いニシンが漁獲されていることとなります(図1)。
4. 生殖腺は産卵後の萎縮あるいは未熟の状態、内蔵除去重量に対する比率(GSI)がオス0.4、メス0.7と低くなっていました(表1)。

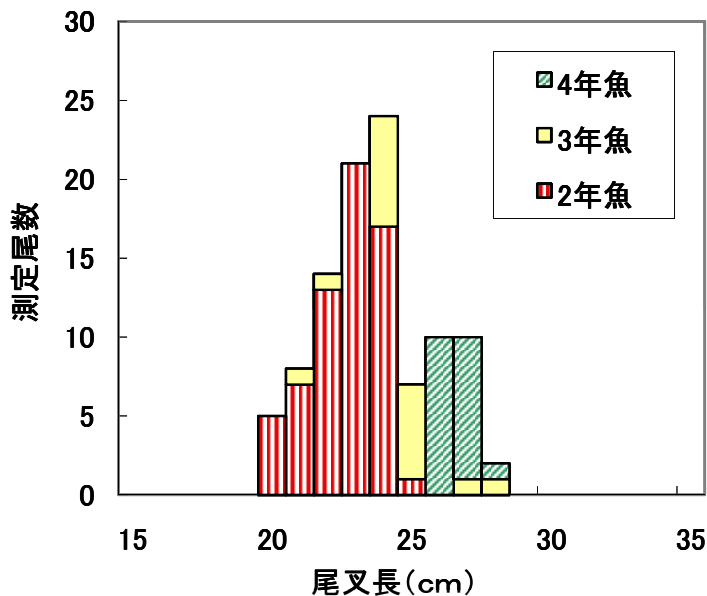


図1 2010年4月23日石狩
年齢別尾又長組成

表1 石狩湾漁協(石狩支所・4月23日)の雌雄別測定結果

項目	オス	メス	合計
測定尾数	42	49	91
平均尾又長(cm)	24.3	23.6	24.2
平均体重(g)	142.7	131.5	140.3
平均生殖腺重量(g)	0.5	0.9	-
平均GSI(%)	0.4	0.7	-